

新発田市 令和3年度 第3回定例記者会見

1 日 時 令和3年5月28日(金)午前11時～

2 場 所 ヨリネスしばた 501 会議室

3 内 容

【市長発表項目】

- 新発田市職員採用試験第1次試験の合格通知の誤送付について
- 新型コロナウイルスワクチンの高齢者に対する接種開始
- 新発田市業態転換(ステップアップ)補助金の創設
- 市職員のテレワーク実施
- しばたあやめまつりの開催
- しばた歴史講座の開催

【その他】

- 手工芸・水墨画、いきいき作品展
- 市民コンサート

あいさつ

○もうすぐ梅雨の時期となります。あのような大雪から春が遠いと思っていたら、普通よりも早く来て、桜も早かったようです。梅雨も早いとのことです。

まず冒頭に、職員採用試験の合格通知の送付について

○新発田市の職員採用試験の第1次試験について5月26日付けで合格発表を行いました。その中で、不合格となった方10名に誤って合格通知を送付するという重大なミスをしてしまいました。新発田市の職員になりたいと受験をされて、このようなミスを犯したことに、誠に遺憾で深くお詫びを申し上げます。

○誤って合格通知を送付した 10 名の方には、既に電話で事情を説明しお詫び申し上げご理解をいただきましたが、本日付けで、改めてお詫びの文書を送らせていただきました。今回の誤送付の原因は、データの作成および発送時のチェック不足によるものです。

○日頃から職員には、ダブルチェック、十分な確認を行うよう指示をしておりましたが、このようなミスが発生したことは市民の皆様への信頼を著しく損ねるものであり、この場をお借りし改めてお詫びを申し上げるとともに、市として再発防止に努めてまいります。なお、今回の件で個人情報の漏洩は発生しておりません。

次に、新型コロナウイルス感染が市内に蔓延していると報道されていることについて

○全国各地でも緊急事態宣言、そして県内では長岡市の特別警報発令と、まだまだコロナの猛威は収束の兆しを見せておりません。

○当市におきましても、ゴールデンウィークが明けた 5 月 9 日から 10 日間程は新規の感染者がゼロという状況で胸を撫で下ろしておりましたが、残念ながら先週末に飲食店におけるクラスターが発生しました。県の発表では飲食店関連ということでカラオケを利用できる店で感染が広がったとのことであり、多くの感染者が発生しています。

○これを受けまして 5 月 24 日(月)に、市内飲食店の皆様へ改めて感染症防止対策徹底のお願い文書をお配りし、5 月 25 日(火)には市民の皆様に向けて市ホームページ、新発田あんしんメールなどでコメントを出しております。5 月 26 日(水)には、市内飲食店を安全に利用してもらうために、飲食店組合などの関係団体で構成される新たな協議会を立ち上げ、感染防止対策の現状と課題の確認や新潟県が取り組みを始める認証制度の市内普及などについて話し合いを行いました。

○また、すでに実施しております市独自の PCR 検査についても、飲食店関係者へ優先的に実施することとし、5 月 29 日(土)、31 日(月)、6 月 1 日(火)、6 日(日)の 4 日間で、536 名の希望者への検査を実施します。最終日の 6 月 6 日は、検査枠が若干残っているので、出来る限り声掛けをしたいと思っています。

○ここで改めて、市長としてメッセージを発出いたします。

【市長メッセージ】

市民の皆様が安全に生活していただくため、また、事業者の皆様が安心して経済活動を行っていただくために、ここで感染拡大を食い止めなければなりません。市としましてもできる限りの取組みを進めてまいりますので、皆様におかれましても、それぞれの立場で、感染症拡大防止にご協力くださいますようお願い申し上げます。

それでは、会見項目を説明いたします。

最初に、新型コロナウイルスワクチンの高齢者に対する接種状況について

- 感染拡大防止の切り札である高齢者へのコロナワクチン接種が本格的に始まりました。予約の際は、当初、電話予約のみとしましたが、とても間に合わず、市民文化会館での対面受付を急遽開始しましたが、先週より集団接種に着手しました。
- 対応が少し後手になったということで、厳しいご意見も頂戴しましたが、反省すべきところは反省し、次の64歳以下の皆さんの接種予約の際にこの反省を活かせるようにしていきます。
- まずは目の前の7月末までの高齢者接種完了を目指し、市の職員はもとより、医師会をはじめ、県立新発田病院、民間医療機関などの皆様ともしっかり連携をとり、市の総力を挙げて取り組んでまいります。
- 現在、集団接種会場として2か所、サテライト接種会場として1か所の計3か所を開設し、一日あたり約550名程度の高齢者に対する接種を行っております。来週からはもう1か所加え、計4か所として、曜日によって人数は異なりますが、一日あたりおよそ600名を超える方に接種を行っていきます。
- この4会場での7月末までの接種可能回数は3万3,780回です。当市の65歳以上の接種対象者は3万2,456人ですので、計算上も7月末までに対象者全員への接種が可能です。
- 集団接種の予約人数は、昨日現在で1万6,679人、また、6月末までにかかりつけ医院や高齢者施設などで接種される方は8,558人ですので、併せると2万5,237人が接種予約をされていることになり、全体の予約率は77.7%になります。

- 接種状況については、昨日現在で1回目接種の方が9,596人、2回目接種の方が1,810人、予約者に対する接種率はそれぞれ38%と7%となっております。
- 個別医療機関では医師の判断により、接種時期が8月以降になる方もいらっしゃるようですが、65歳以上の高齢者でワクチン接種を希望される、全ての方に7月末までに接種が出来る、予約率を限りなく100%に近づけるために、引き続き、努力するとともに、安心・安全な集団接種が出来るよう気を引き締めて臨んでまいります。
- なお、少し別のお話になりますが、コロナ禍で落ち込んでいる市内の消費喚起を促すために、市独自の取組として、6月上旬からタクシー券を販売いたします。初乗り料金630円のタクシー券を、1セット11枚綴りにして5,000円で販売します。
- お買い物や通院にご利用いただきたいのはもちろんですが、この、コロナウイルスワクチン集団接種会場への送迎などにも是非ご利用いただきたいと思います。
- また、遠方の市民の皆様や交通弱者の皆様方には、無料のバス運行も予定しているところです。

次に、新発田市業態転換(ステップアップ)補助金の創設について

- 当市では、新型コロナウイルス感染症によって疲弊した市内経済を回復させるための対策として、「家賃補助金」、「休業延長協力事業者助成金」、「今・得キャンペーン」などを創設し、各事業者への支援をシームレス、かつスピーディに行ってまいりました。
- しかし、感染症の流行が長期化し、一向に収束の兆しが見えない中で、テレワーク、テイクアウト、デリバリーなど、人々のライフスタイルそのものが大きく変化してきており、各事業者としても、経営を持続させるためには、この変化に対応していかなければならない状況となっています。
- 小売店や食品加工業者が個人向け販売を新たに開始するためのインターネットサイト開設や、飲食店がテイクアウト販売を開始するための設備導入費など、事業者が知恵を絞り、新たにチャレンジしようとする取組に対し、その経費の一部を助成する制度を創設いたしました。

- 業態転換については、新潟県も同様の助成を行っておりますが、当市では、県が対象としていない独自の支援を行います。例えば、新たな業態に参入するためのフランチャイズ登録料、新たに雇用する人件費や新規創業のための家賃・駐車場代なども市補助金の対象としていくことにより、小規模な事業も含め、様々な業態転換を対象としていきます。
- さらに、この補助金は、県の「新型コロナウイルス対応新事業チャレンジ支援事業補助金」を活用した事業の自己負担分についても申請できる仕組みとし、事業者のステップアップをより支援していけるよう制度設計をしています。
- 市内経済がコロナ前の水準を取り戻し、さらに成長していくためには、市内経済をけん引する各事業者がステップアップを目指し、前向きなチャレンジに取り組んでもらうことが重要です。市としてもこの取組みに積極的に支援いたします。

次に、市職員のテレワーク実施について

- 先月、当市職員から、新型コロナウイルス感染者が発生しました。来庁者及び他の市職員に濃厚接触者がおりませんでしたので、市の業務は通常どおり継続でき、最悪の事態は免れました。
- しかし、今後、感染症対策を徹底していても、いつまた感染者が発生するかわかりません。本人に限らず、ご家族や親しい間柄の方が感染したり、濃厚接触者となる可能性もあります。そのような場合は、職員本人が元気でも、一定期間は出勤を控える状況も出てまいります。
- どこで新型コロナウイルス感染者が発生しても、市の業務を止めることのないよう、また、他の職員の負担が増えないよう、当市でも、テレワークシステムを導入いたします。
- テレワーク用のパソコンを50台準備しました。既に当市は書類や伝票決裁の電子化が済んでおりますので、住民情報などの外部に持ち出せないものを除き、大半の業務はテレワーク用パソコンによって遠隔処理が可能です。
- まずはウィズコロナとして業務を継続させるために稼働いたしますが、将来的には、育児や介護を行う職員、障害がある職員などへの拡大や、リモート会議の開催などにも活用することで、ポストコロナを見据えたデジタル化への足掛かりになるもの

と考えております。

次に、しばたあやめまつりの開催について

- 6月5日(土)の聖火リレーでは、ランナーたちが聖火をつないでいきますが、新発田の「花のリレー」では、桜、れんぎょうに続いて、いよいよ市の花「アヤメ」の季節を迎えます。コロナ禍により昨年は中止といたしました「しばたあやめまつり」ですが、今年は2年振りに開催します。
- 「五十公野公園あやめ園」に、約300品種60万本のアヤメが咲き誇ります。6月9日(水)から6月23日(水)までの15日間は、ぼんぼりを置き、午後6時から8時までライトアップを実施します。
- 新型コロナウイルス関連で疲れを感じている市民の皆様の癒しとしてホッと一息ついてもらい、生活にメリハリをつけていただければと考えております。
- 公園内が密にならないようにして開催しますので、皆様もマスクの着用など、感染予防対策をとったうえで、当市自慢のアヤメを楽しんでいただきますようお願いいたします。

最後に、しばた歴史講座の開催について

- 新発田市はご承知のように、歴史と文化が息づくまちです。これまでも市民の皆さんへ「歴史講座」という形で、新発田の魅力をお伝えしてきましたが、今年は、新発田、豊浦、紫雲寺、加治川の4地区公民館が連携し、それぞれの地区に関連した講座を展開いたします。
- 新発田の歴史というと、新発田城や堀部安兵衛などが有名ですが、同じ江戸時代に、新発田藩とは別に、今の上館に三日市藩という藩がありました。また、紫雲寺地区や加治川地区などにまたがる紫雲寺潟の干拓など、大変な難事業も完成させています。さらに、戦国時代以前からこの地域では集落が形成され、人々の営みの中で発生した石造物もまた、多数残されております。

○そして現在、東公園に移築工事中の蔵春閣を最初に建築した大倉喜八郎に関する講座も開催します。喜八郎本人や、彼が生きた時代を学べば、蔵春閣をご覧いただく際の味わいも、より一層深いものとなることでしょう。

○今回の講座は既に申込み終了となりますが、今後もこのような取組を継続して行い、市民の皆さんが新発田の歴史へ理解を深め、郷土の魅力を再発見していただければと思っています。

本日お知らせする情報は以上になりますが、他にもお配りした資料のとおり、「手工芸・水墨画、いきいき作品展」や「市民コンサート」など、日々の生活にメリハリをつけていただけるよう、規模は大きくはありませんがイベントを予定しております。報道各社の皆様におかれましては、一つでも多く記事に取り上げていただき、新発田市をご支援いただきますよう、よろしくお願いいたします。